

令和 6 年度政務活動費収支報告書

会派名 日本共産党

1 収 入 政務活動費 240,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費		
広 報 費	69,377	新聞折込み代金
広 聴 費		
資 料 作 成 費	82,128	アンケート結果印刷代
資 料 購 入 費		
合 計	151,505	

3 残 額 88,495 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

領 収 書

№ 145305

令和 6 年 9 月 21 日

中津川市議会 日本共産党 御中

株式会社 中日岐阜サービスセンター

〒500-8381 岐阜市市橋三丁目
TEL 058-273-8248 FAX 058-273-8249

金額 ￥ 69,377

☐ 本社 ☐ 大垣営業所
☐ 中濃営業所 ☐ 東濃営業所

入金内訳			消費税
現金	小切手	振込	サイズ

税率10%

T5200001003398

配布日	配布数	単価	小計	手配管理料
9/29	18,550	32	59,360	3,710
新聞折込代金として			税抜合計金額	63,070



取扱者印



上記の金額正に受取りました。

複写でないもの、訂正したもの及び取扱者の押印の無いものは無効です。

(2×50×200)

領収書



中津川市議会 日本共産党様

取引年月日：2024年09月19日(木)

下記正に領収いたしました。

領収書番号：R-240917402679

合計金額 (税込) 82,128円

ラクスル株式会社

10%対象 82,128円 (内消費税: 7,466円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
240917402679-01	チラシ・フライヤー / B4 / 両面カラー / 光 沢紙(コート) / 標準：90kg	20,000部	74,662円	出荷予定日: 2024年9月22日 中津川市政アンケート結果報 告注文用

「*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 74,662円
小計 (税抜)	74,662円
合計金額 (税込)	82,128円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。

活動報告書

(会派 日本共産党)

活動項目	市政アンケート
活動日	令和 6 年 3 月 15 日～令和 6 年 10 月
活動実施者	木下律子、田中愛子
活動目的	市民の声を可視化し市政へ反映する
活動場所	中津川市全域
活動内容	令和 5 年度、全市民を対象に新聞折込みや手配りで配布したアンケートの回収と集計をしました。配布枚数 30,000 枚に対し回答は 460 件ありました。回答内容から得られた市民の願い、要求を、集計しまとめたものを新聞折込みや手配りで配布しました。 アンケート実施期間（令和 6 年 3 月 15 日～4 月 30 日） アンケートの結果報告（令和 6 年 9 月 15 日に新聞折込み、手配りでの配布開始。令和 6 年 9 月 24 日にホームページにて公表）
活動の所見 まとめ	回答目標数 500 件には届きませんでした。 回答者の半数を 60 歳以上が占めていたことから、一部の設問については、全体の回答と 50 代以下のみの回答を載せました。 アンケートの回答では、医療や高齢者支援、子育て支援といった福祉政策の充実を求める声が多かったです。 子育て政策は産後から就労まで期間が長く多岐にわたる事から、主に教育とその他の 2 項目に分けて質問しました。少子化対策・人口減少対策で重要と考える政策について、全体と 50 代以下のみの回答での差はありませんでした。 雇用・労働問題改善に重要だと考える政策について、60 歳以上と 50 代以下とでは結果に差が出ました。 全体（60 歳以上が半数）では農林業の保護育成（3 位）や企業誘致・地域雇用の創出（5 位）が上位に入りましたが、50 代以下のみの回答では、60 歳以上では上位だった農林業の保護育成（7 位）や企業誘致・地域雇用の創出（8 位）は上位に入らず、働き方改革（2 位、60 歳以上は 6 位）、男女の賃金格差解消（4 位、60 歳以上は 8 位）、中小企業支援（5 位、60 歳以上は 7 位）が上位に入りました。現役世代の多くが既存の産業の中で賃金の引き上げや、働き方の改善、男女間での差別撤廃を求めていることが分かりました。また、若い世代の農業就労者が少ないことも結果に影響を与えていると考えられるため、農林業への関心を高める政策がより一層必要だと考えます。

	防災・災害対策については行政側に対し、避難所の充実が求められています。また、防災無線が聞こえないといった声もありました。市民に防災対策を求める一方で、避難所や物資、障がい者等が利用する福祉避難所などの市の取り組みが市民に伝わっていないのではないかと考えます。 高齢者支援については、介護保険、医療費負担の削減と年金額の引き上げが上位にあがり、経済的負担や不安が強いと考えます。 障がい者支援では子育て支援、生活支援、就労支援が上位にあがりました。切れ目ない支援と共に、家庭（主に保護者）の負担を軽減する必要があります。 医療政策については、坂下診療所の病院機能復活を求める声が強く、市民病院には公的医療機関としての役割の存続（充実）が求められています。 リニア政策について、残土は埋め立て中止か無害化処理を求める声が圧倒的多数を占めました。次世代へ不安を残さないためにも最低でも無害化処理を進めるべきだと考えます。 また、リニアより福祉を優先して欲しいとの声も圧倒的多数であり、市民にとってリニア事業の負担感が強いと感じます。 その他、自由記述の中にはアンケートの項目にはなかったもの（送電線問題）もあり、地域の課題や要求を、すくい上げていく必要があると考えます。
その他	政務活動費を活用して製作し、新聞折込みで配布したアンケート結果報告と、アンケート回答の詳細な内容と考察を添付致します。

中津川市政アンケート結果報告

アンケート実施方法

中津川市全域に新聞折込や手配りで用紙を配布、郵送や訪問で回答を集め、集計しました。回答は1つの質問に3項目を選択、項目を集計し多い順に上位5位まで公表します。自由記述など詳細は日本共産党恵那地区委員会HPにて公開いたします。

※アンケート回答総数460に対し、選択された件数から回答率を算出し、割合(%)を載せています。



このアンケートは中津川市議会
会派日本共産党の取り組みです。

日本共産党中津川市議団は、2024年3月～5月に市政アンケートに取り組み、合計460通の回答が寄せられました。ご協力いただいた市民の皆さまに心から感謝いたします。今後も市民の皆様の声をお寄せください。

① 新市長に期待する政策は何？

第1位・医療の充実

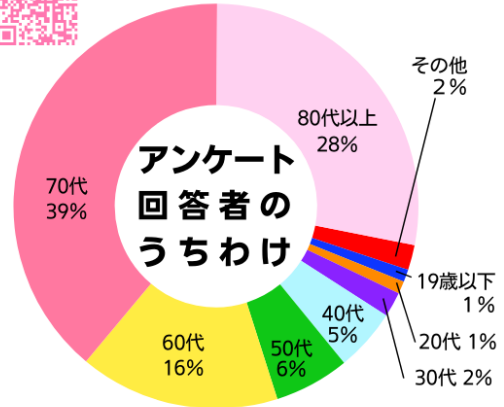
第2位・高齢者支援

第3位・少子高齢化人口減少対策

第4位・保険料／税負担軽減

第5位・子育て支援

新市長に期待する政策の第1位は医療の充実です。坂下診療所の病院機能回復と安心してかかることのできる市民病院への期待です。



50代以下の回答が少なく、60代以上の高齢者の意見を反映する結果となりました。一部の設問は50代以下のみの回答を集計した結果も載せました。

② 子育て支援政策のうち教育環境について重要だと考えるものは何ですか？

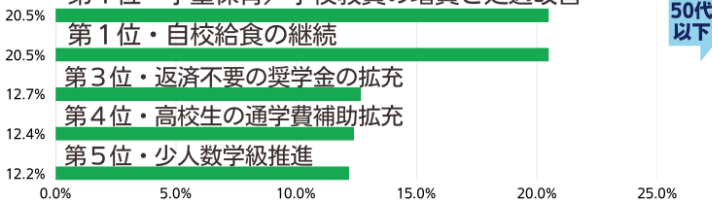
第1位・学童保育／学校教員の増員と処遇改善

第1位・自校給食の継続

第3位・返済不要の奨学金の拡充

第4位・高校生の通学費補助拡充

第5位・少人数学級推進



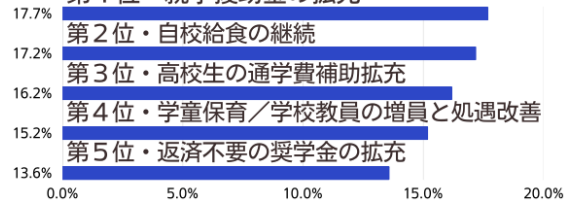
第1位・就学援助金の拡充

第2位・自校給食の継続

第3位・高校生の通学費補助拡充

第4位・学童保育／学校教員の増員と処遇改善

第5位・返済不要の奨学金の拡充



小中学校の統廃合が進められていますが、学童保育・学校教員の増員と処遇改善や自校給食の継続、少人数学級など子どもに対する丁寧な関わりや質の高さが求められています。50代以下の回答のトップは、『就学援助金の拡充』（経済的に困難な小中学生の保護者に対して、学用品や給食費などを援助するもの）です。中津川市は利用率が低く、他市ではすでに廃止している『民生委員の関与（民生委員の意見の記入依頼をする）』を廃止するなど、申請のハードルを下げ、利用しやすいくするための改善が必要です。

③ そのほかの子育て支援政策について重要だと考える政策は何ですか？

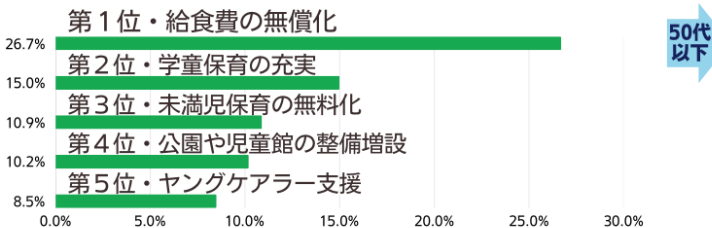
第1位・給食費の無償化

第2位・学童保育の充実

第3位・未満児保育の無料化

第4位・公園や児童館の整備増設

第5位・ヤングケアラー支援



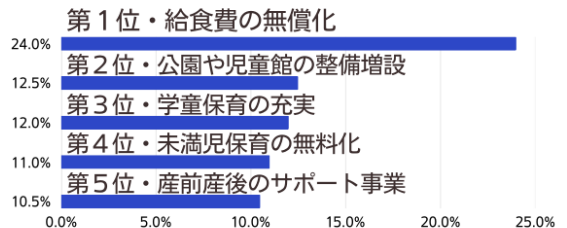
第1位・給食費の無償化

第2位・公園や児童館の整備増設

第3位・学童保育の充実

第4位・未満児保育の無料化

第5位・産前産後のサポート事業



他の自治体で始まっていることもあり『給食費の無償化』が各世代で1位でした。2位～4位には『公園や児童館の整備充実』『学童保育の充実』『未満児保育の無料化』がランクイン。若い世代からは『産前産後のサポート事業』の重要性が挙げられており子どもの居場所の充実や乳幼児期の更なる支援が求められています。

④ 少子化対策・人口減少対策のうち重要だと考える政策は何ですか？

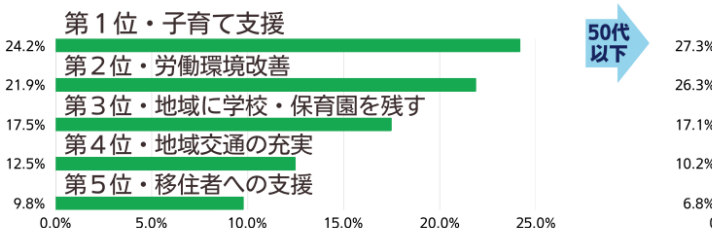
第1位・子育て支援

第2位・労働環境改善

第3位・地域に学校・保育園を残す

第4位・地域交通の充実

第5位・移住者への支援



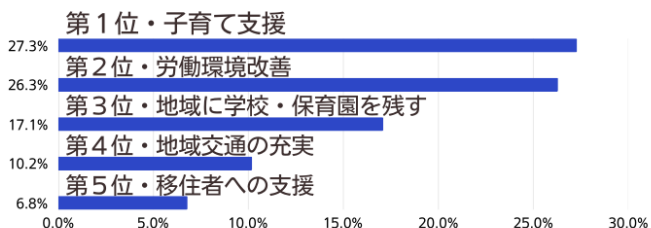
第1位・子育て支援

第2位・労働環境改善

第3位・地域に学校・保育園を残す

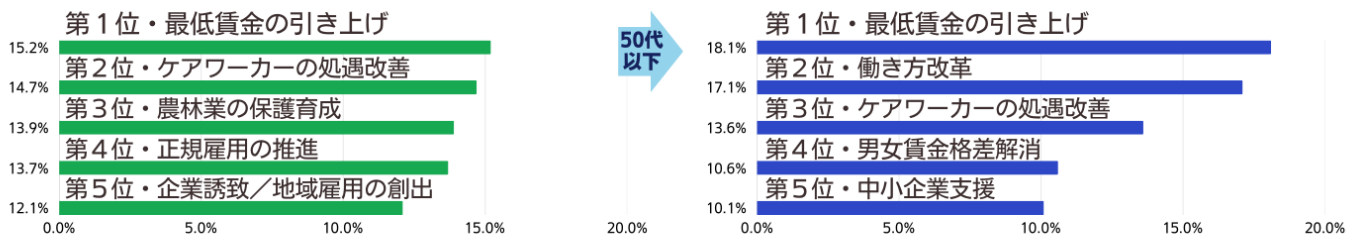
第4位・地域交通の充実

第5位・移住者への支援



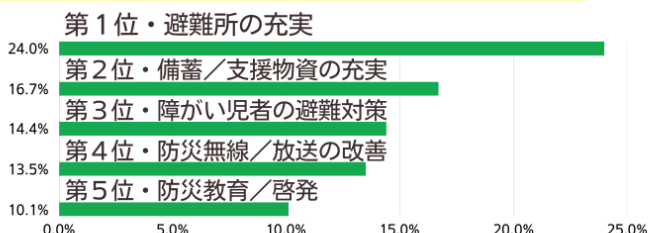
全体と50代以下の結果が同じとなりました。子育て支援の充実が、少子化、人口減少対策に有効だと多くの人が感じているようです。僅差で2位となった労働環境の改善も次世代のために社会全体で取り組む必要があります。地域の学校、保育園を存続させることや、地域交通の充実など、地域の活性化につながることも少子化、人口減少対策として必要です。

⑤ 雇用・労働問題改善に重要だと考える政策は何ですか？



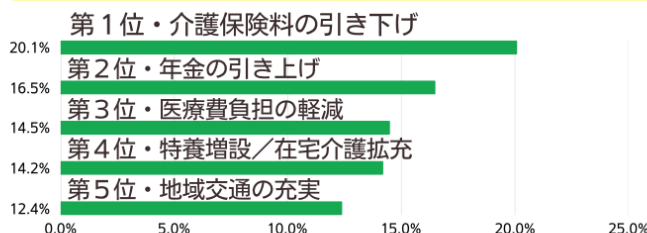
岐阜県の最低賃金は950円と低く（報道では10月から1,001円）、もっと引き上げる必要があります。50代以下では働き方改革や男女賃金格差解消が上位に上がり、長時間労働の解消やジェンダー平等の取り組み強化が必要です。合わせて中小企業支援、非正規雇用をなくし正規雇用への転換、ケアワーカーの処遇改善が求められています。

⑥ 防災／災害対策で重要視すること



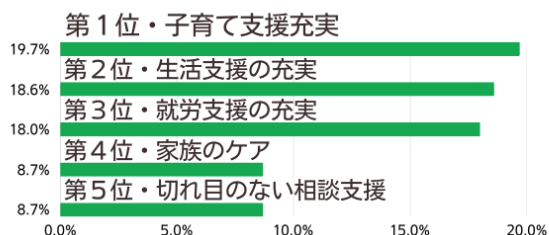
今年も正月から能登地震が起こるなど各地で災害が相次いでいます。個人での備えには限界があり、避難所の充実や備蓄支援物資の充実が急務です。加えて、防災無線の改善が求められています。

⑦ 高齢者支援政策で優先して欲しいこと



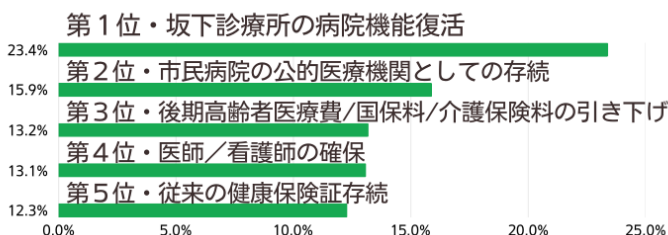
保険料の引き下げ、年金の引き上げ、医療費負担の軽減、地域交通の充実といった生活に直結する願いが寄せられています。これらは国の悪政が元にあります。市民の暮らしを守る、市として独自の施策を求めます。

⑧ 障がい者支援で優先して欲しいこと



1位～3位が4位以下の約2倍、ほぼ同数の要望が寄せられています。『子育て』『生活』『就労』とそれぞれのライフステージに合わせた支援の充実、加えて家族へのケアと切れ目のない相談、支援が必要とされています。

⑨ 医療政策で優先して欲しいこと



坂下診療所の病院機能復活への強い思いが結果に表れています。同時に、市民病院の公立病院としての建て替え・医師の確保についても、きちんと市として方針を確立する必要があります。

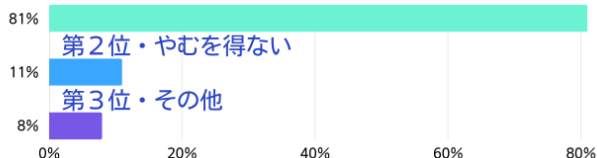
⑩ リニア中央新幹線工事／政策についてどのように考えていますか？

※リニア中央新幹線への質問は1問につき1回答です。

①県内では中津川市と御嵩町に汚染残土（要対策土）の埋め立て処分が計画されていましたが、御嵩町の審議会では「汚染残土の搬入を認めない、専門処理施設等による処理（無害化）を求める」と答申が出されました。

坂本北部の農業用ため池上流への汚染残土埋め立て計画についてどう思いますか。

第1位・埋め立て中止／無害化処理を行なう



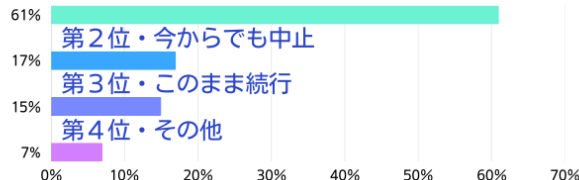
土木費東濃1位が続く市政から、市民本位の福祉・教育・子育て・市民生活優先の市政へ切り替えたいと、多くの市民の声が寄せられました。リニア事業はあちこちで遅れ、完成は2034年以降となることが明らかになっています。

埋立地の下流には農業用ため池があり車両基地内や周辺への土壌汚染対策法の有害残土の埋め立ては、将来に禍根を残すこととなり許されません。環境への影響のない処分を市民は求めています。今年に入り瑞浪市では、トンネル工事により井戸やため池の枯渇が起こり、市内の山口トンネルでも湧水が激増し地下水環境への対応が求められています。

②リニア工事の全国的な遅れに開業は2027年以降になる一方で、リニアのまちづくりのために道路工事・区画整理・駅周辺整備が進められ、市民の土木費負担は東濃5市で最も重くなっています。

リニア工事に対してどのように考えていますか。

第1位・リニアより福祉優先



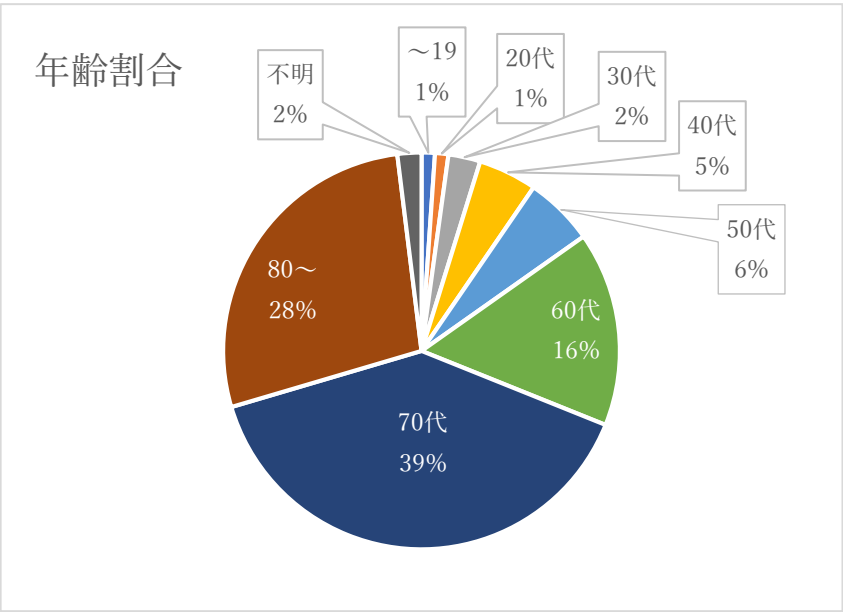
日本共産党中津川市議団は、市政アンケートで寄せられた皆さまのご意見・ご要望をもとに、引き続き市民の声を国・岐阜県・中津川市に届け、お寄せ頂いたご要望の実現をめざして取り組んでまいります。

中津川市議会日本共産党 木下りつ子・090（9262）0092／田中あいこ・090（4549）1385

■アンケート回答の詳細な内容と考察

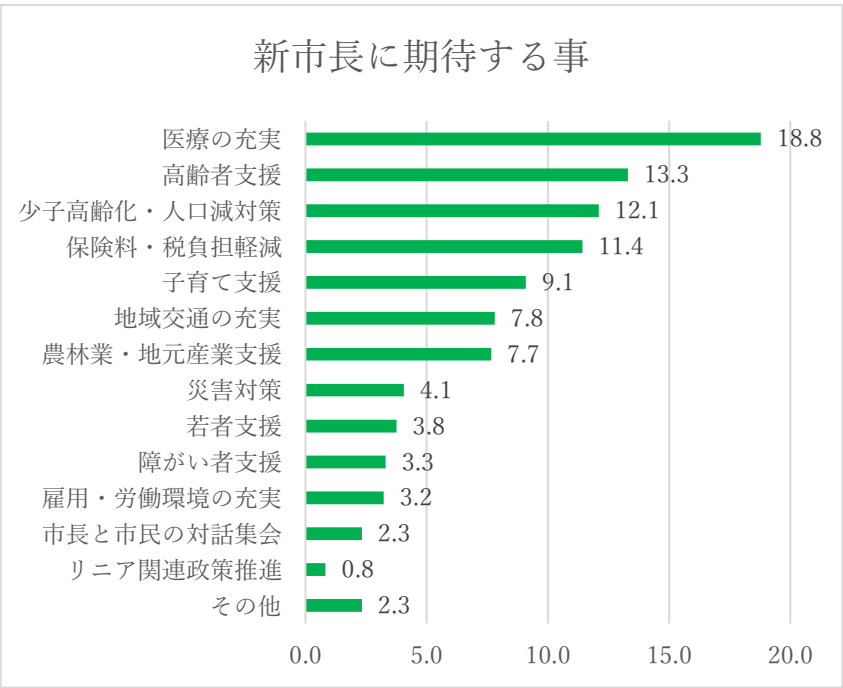
アンケート実施方法

中津川市全域に新聞折り込みや手配りでアンケート用紙を配布、郵送や訪問回収で回答を集め、結果を集計しました。回答は1つの質問に3項目を選択、項目を集計し多い順に公表しました。



まず、寄せていただいた回答は 460 通で、アンケートの回答者の年代は、10代～80代以上と幅広くなりましたが、50代以下の回答が少なく、60代以上の高齢者の意見を反映する結果となりました。参考に、50代以下の回答結果を比較集計しました。

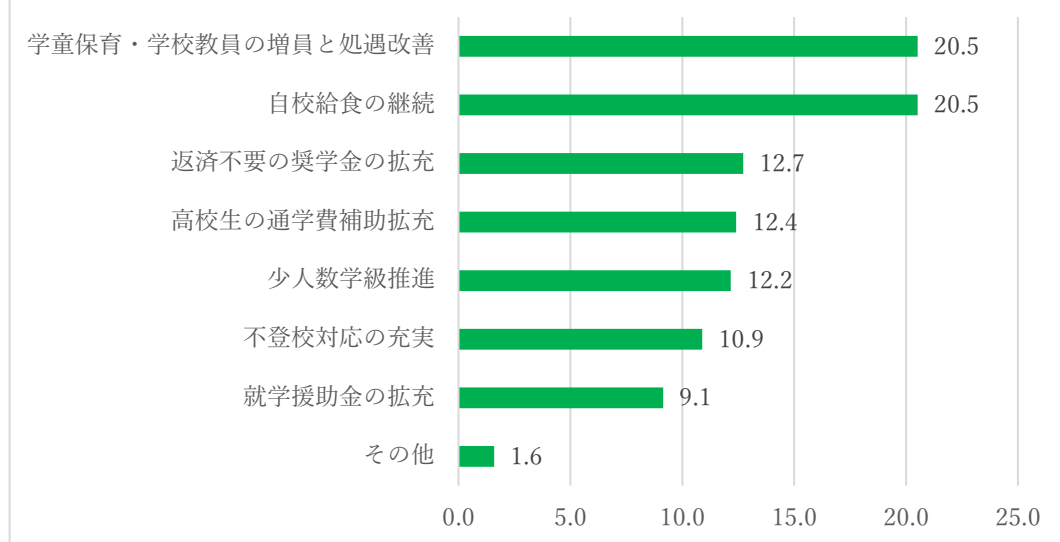
(以下、数字はいずれもパーセント)



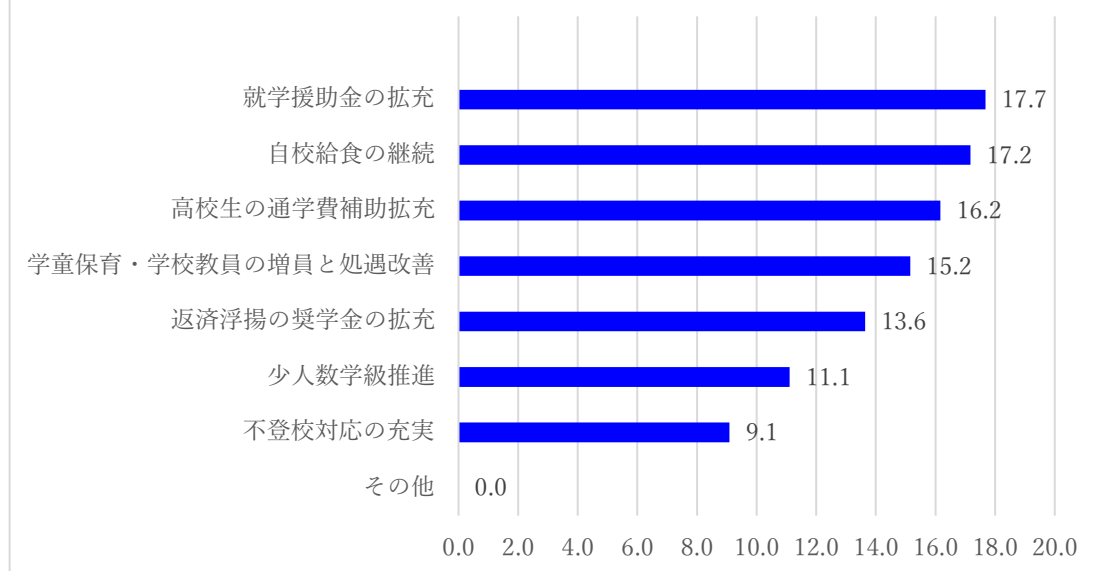
新市長に期待すること という設問には、

①医療の充実 ②高齢者支援 ③少子高齢化・人口減対策 ④保険料・税負担軽減 ⑤子育て支援がトップに上がっています。新市長には、坂下診療所の病院機能回復と安心してかかることのできる市民病院の構築に是非とも尽力してほしいものです。

子育て支援（教育環境）で重要だと考える政策



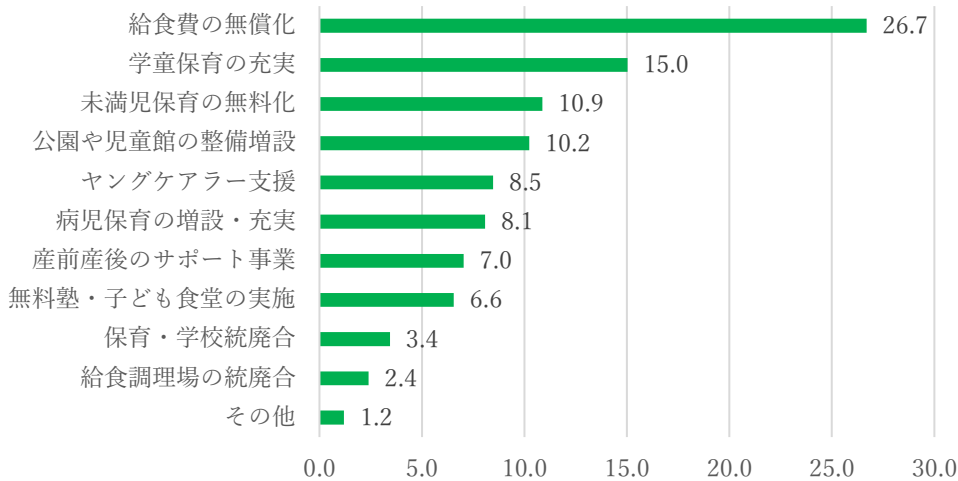
子育て支援（教育環境）50代以下の回答結果



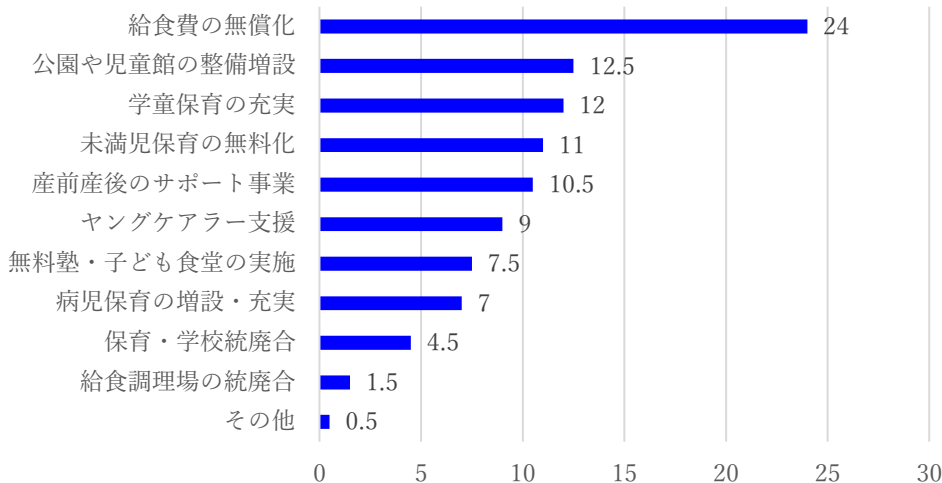
2. 子育て支援(教育環境)で最重要政策は？の設問には

①学童保育・学校教員の増員と処遇改善 ②自校給食の継続 ③返済不要の奨学金の拡充 ④高校生の通学費補助拡充 ⑤少人数学級推進の順になりました。小中学校の統廃合が検討されている中ですが、自校給食の継続、就学援助と教育充実の要望に応える教育行政であってほしいと思います。10代～50代までのトップは、「就学援助金の拡充」です。経済的に困難な小中学生の保護者に対して、学用品や給食費などを援助するもの。中津川市は他市ではすでに廃止している民生委員の関与「民生委員の意見の記入依頼をする」を廃止し、申請を簡略化するなど改善が必要です。

子育て支援（その他）で重要だと考える政策



子育て支援（その他）50代以下の回答結果



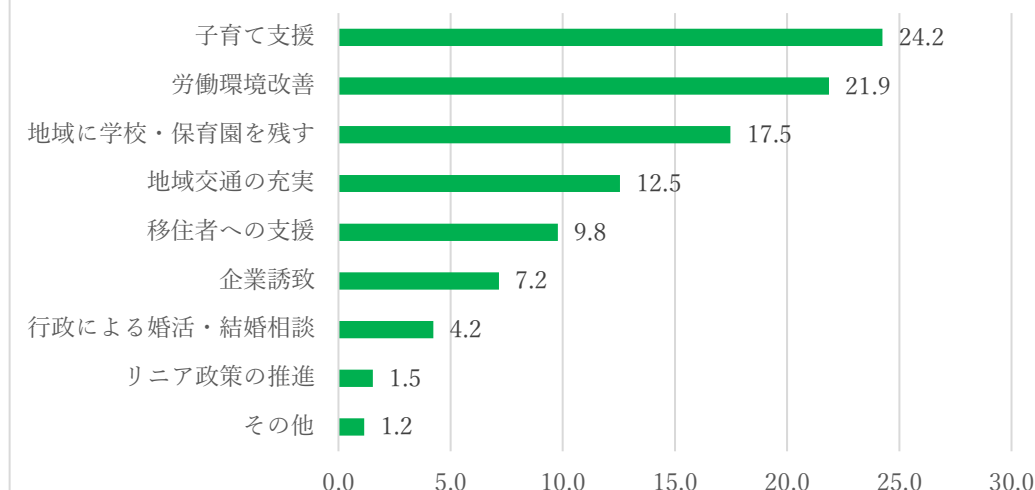
3. 子育て支援(その他)で最重要政策は？の場合は、

①給食費の無償化 ②学童保育の充実 ③未満児保育の無料化 ④公園・児童館の整備充実 ⑤ヤングケアラー支援 でした。

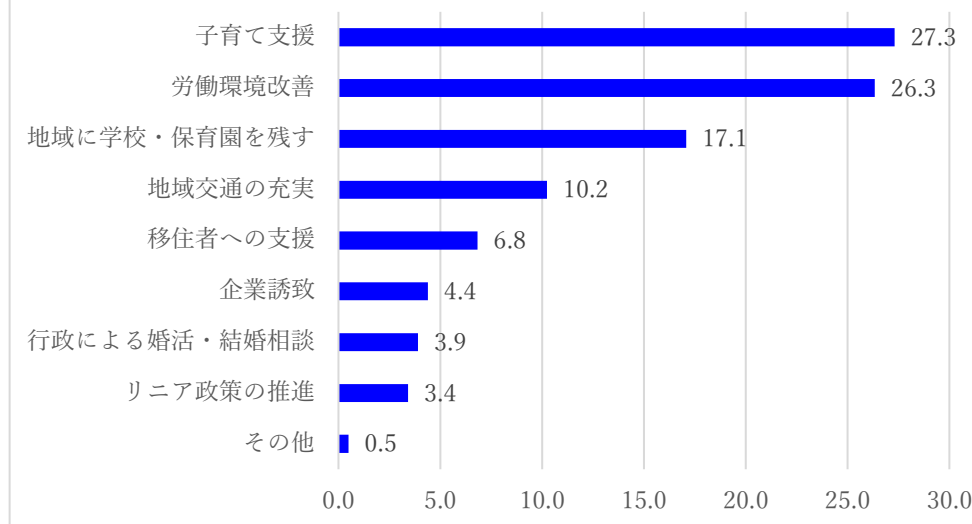
50代以下では、①給食費の無償化の次に②公園、児童館の整備充実が入り、⑤に産前産後のサポート事業が入りました。

子育て環境を充実させることは、子育て世代を呼び込むことにもつながり、少子化対策にも有効なのではないでしょうか？

少子化対策・人口減少対策で重要だと考える政策



少子化対策 50代以下の回答結果

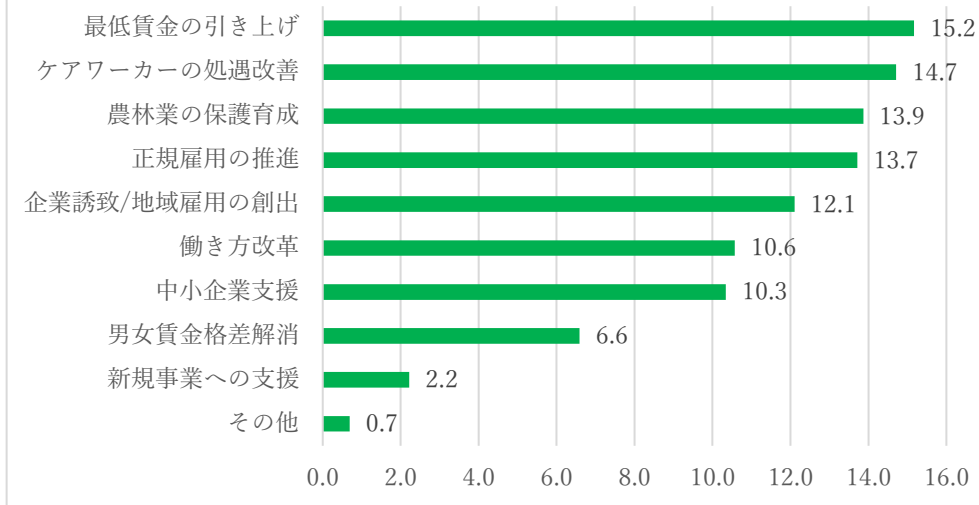


4. 少子化・人口減少対策で重要な政策は？

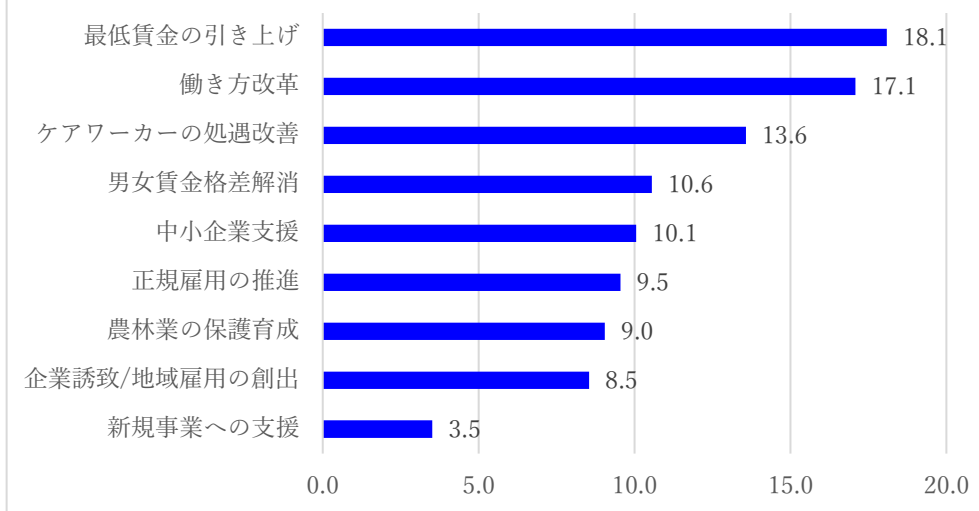
①子育て支援 ②労働環境改善 ③地域に学校、保育園を残す ④地域交通の充実 ⑤移住者支援 となっています。

50代以下でも同様の結果となりました。やはり、子育て支援の充実が、少子化、人口減少対策に有効だと多くの人が感じています。地域の学校、保育園を存続させることや、地域交通の充実など、地域の活性化につながることも、少子化、人口減少対策に必要なことではないでしょうか？

雇用・労働問題改善に重要だと考える政策



雇用・労働問題 改善 50代以下の回答結果



5. 雇用・労働改善問題に重要だと考える政策では、

①最低賃金の引き上げ ②ケアワーカーの処遇改善

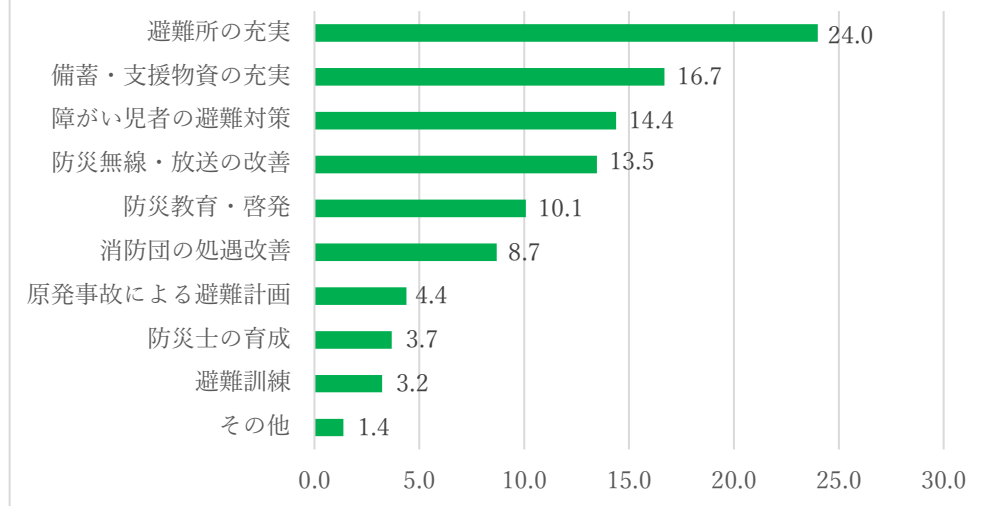
③農林業の保護育成 ④正規雇用の推進 ⑤企業誘致、地域雇用の創出 となりました。

50代以下では、②働き方改革④男女賃金格差解消⑤中小企業支援があげられています。

岐阜県の最低賃金は 950 円と低く、もっと引き上げる必要があります。(報道では 10 月から 1,001 円)長時間労働の解消やジェンダー平等の取り組みの強化が必要ではないでしょうか。

あわせて中小企業支援で非正規雇用をなくし、正規雇用への転換、処遇の改善が求められています。

防災・災害対応に重要だと考える政策



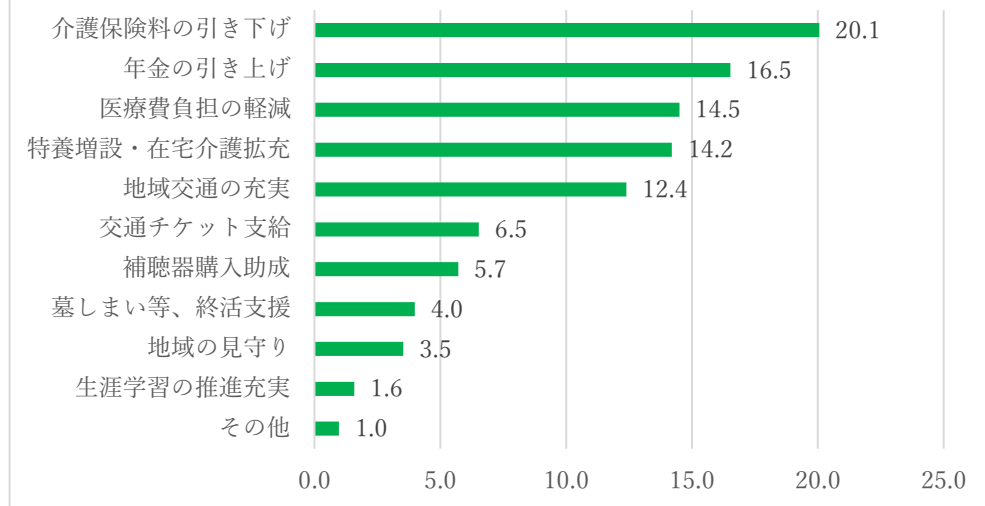
6. 防災・災害対策についての設問に対しては、

①避難所の充実 ②備蓄・支援物資の充実 ③障がい児者の避難対策

④防災無線放送の改善 ⑤防災教育・啓発

今年も正月から能登半島地震が起こるなど、避難所の充実、備蓄支援物資の充実が急務です。加えて、避難時要支援者の避難対策など命を守る施策が求められています。

高齢者支援で優先してほしい政策



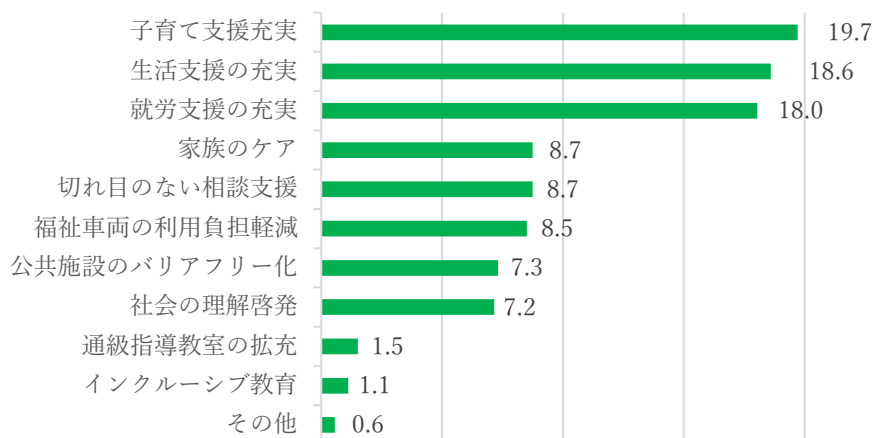
7. 高齢者支援で優先してほしい政策は、という設問に対しては、

①介護保険料の引き下げ ②年金の引き上げ ③医療費負担の軽減

④特養の増設と在宅介護の拡充 ⑤地域交通の充実となりました。

保険料の引き下げ、年金の引き上げ、医療費負担の軽減といった生活に直結する願いが寄せられています。これらは国の悪政が元にあります。市民のいのちと暮らしを守るために、市として独自の施策を求めます。

障がい者支援で優先してほしい政策



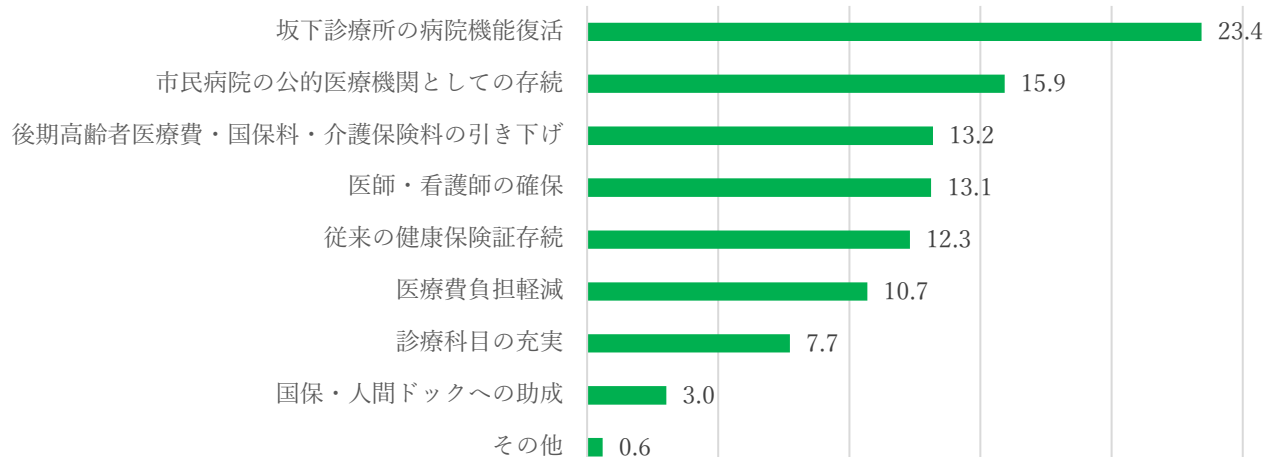
8. 障がい者支援で優先してほしい政策に対しては、

①子育て支援の充実 ②生活支援の充実 ③就労支援の充実

④家族のケア ⑤切れ目のない相談・支援となりました。

①～③がほぼ同数の要望が寄せられています。障がい者支援として子育てや生活、就労の支援が求められています。加えて切れ目のない相談と支援が必要とされています。

医療について優先してほしい政策

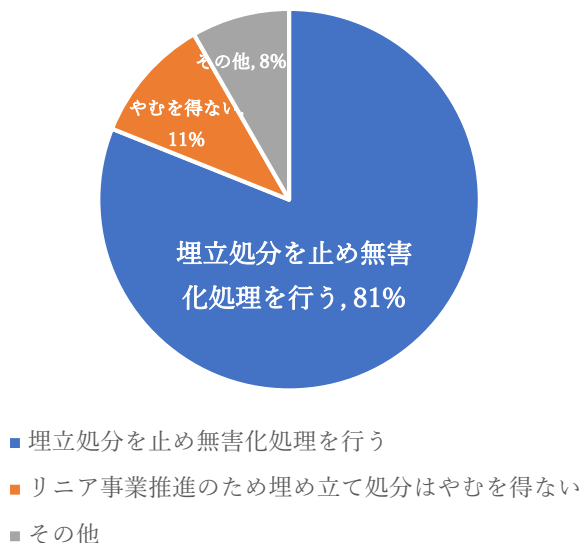


9. 医療について優先してほしい政策には

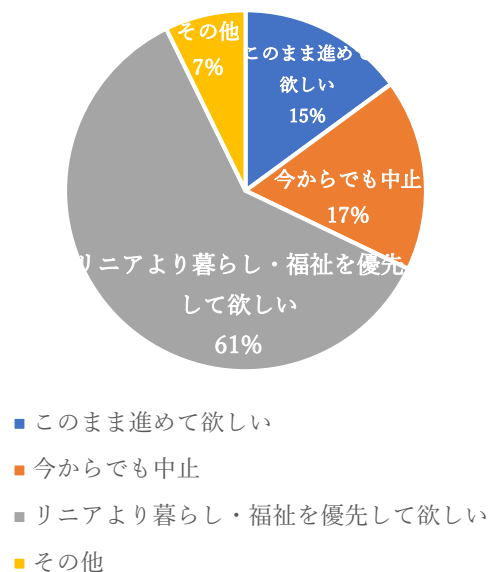
①坂下診療所の病院機能復活 ②市民病院の公的医療機関としての存続 ③後期高齢者医療・国保料・介護保険料の引き下げ ④医師・看護師の確保 ⑤従来の保険証の存続となりました。

坂下診療所の病院機能復活への強い思いが結果に表れています。同時に、市民病院の公立病院としての建て替え・医師の確保についても、きちんと市として方針を確立する必要があります。

リニア建設工事による坂本北部農業用ため池付近残土埋め立て計画案についてどう思いますか？



リニア建設工事についてどのように考えていますか？



10. リニア建設について、車両基地建設地の下流には農業用ため池があり、基地内や周辺への土壌汚染対策法の有害残土の埋立ては、将来に禍根を残し許されません。環境への影響のない処分を市民は求めています。

最近、瑞浪市ではトンネル工事により、井戸やため池の枯渇が起こり、市内の山口トンネルでも湧水が激増し地下水環境への対応が求められています。

リニア事業は、あちこちで遅れ、完成は2034年以降となることが明らかになりました。

土木費東濃1位が続く市政から、市民本位の福祉・教育・子育て・市民生活優先の市政へ切り替えたいと、多くの市民の声が寄せられました。

■自由記述欄より、一部紹介します。(個人情報を含むものを除いています。)

子育て支援

- いじめ対策
- 地域住民との交流。登下校時の見守り活動
- 統合・合併の前に少人数でもチャンスと変え丁寧に個人を育てる保育・教育を願いたい！(未来の地域を創る人材と思って)
- 保育・学童・学校職員などの増員と処遇改善
- ⑧(保育・学校の統廃合)⑩(給食調理場の統廃合)絶対やってはいけない。学校などの統合は地域崩壊の原因
- みんなやっていただきたいことばかりですね
- 大規模の統合は反対
- 学費の無利息貸付金をつくってほしい
- 地域住民との歴史・文化・地域学習会
- 弟妹が未満児の場合、上の幼児は保育に欠ける扱いをしてほしい
- 各家庭の子供ではなく大切な国の宝として育つ環境を！
- 実態調査を実施する
- 子育てしたいと思う町づくり(安全)
- 地域にあった政策が大切

少子化対策

- 子どもなど急な病に対応できる地元病院
- 子ども自身が自分の町が好きと思って育つ環境を。
- 製造業が多く、若い女性が働きたい職種が少ないこと
- 大学や高校にお金がかかりすぎるから少子化なのでは

労働問題

- 中小企業の取引単価を引き上げる
- 3つの選択は難しい。これからは放置でなく農業産業の見直しを
- 中心部以外へ企業誘致
- シルバーの数が少ない
- 130 万円の枠 税金

災害対策

- 温暖化で高温多雨が～増水対策を
- 現在の広報無線は聞こえない。個別受信機を
- 災害時に即応できる部署を早急につくり対応できるようにする
- 孤立地域にならないための道路・崖・橋等の点検・整備

高齢者支援

- 介護の認定基準が厳しすぎる---悪化してからの入所では長生きできない
- 私たちの年齢になると介護の問題が一番心配です。看護師・介護士の働き方、賃金をあげてほしい
- 補聴器購入助成について、自治体によっては既に購入助成金が導入されていると聞いております、高額なために補聴器なしで日常生活ができない私たちは本当に困っています。真剣になって早く支援していただけることをお願いいたします。※難聴という耳の病気ですので補聴器は楽で負担があって当然だと思っております。更新したくてもできないのが現状です。
- たよる人がいないので困っている

残土処分

- 汚染残土があることによってデメリットやどんな改善があるのかはっきりした説明の場、書面での配布があると判断しやすい
- 工事が進んできてしまったので最良の処置を考えてほしい

リニア建設

- これ以上地球を壊さないで昔の人々の考えで地球を生き生きさせてください。昔の様にゆっくり急がず焦らずの生活が良いです。
- 複雑な気持ちです。将来に期待したい事もある
- リニアの必要性を感じない
- リニアは賛成ではないが着工しているので進めるしかない
- 今から中止は難しいのでは

困りごと

- 車など横付け出来ない場所に家が建っています。家も古くなり今後リフォームや修繕・解体に困っています
- 高齢者の車の運転が減るよう乗り合いタクシーみたいな交通支援を考えた方がよい
- 在宅介護をしているがショートステイを希望しても施設が一杯で受け入れてもらえない。医療・介護・福祉で働く人の待遇を改善し高齢者の施設や訪問等を充実させてほしい
- 北野保育園が、数年後に、統廃合により、無くなります。しかし、避難所に指定されており、目先の改革に思えます。子育て支援に逆行し、災害への備えの後退にほかなりません。避難所としての、備蓄の充実 災害時のトイレの確保 炊事場の充実 などを行うことにより、いざというときの、備えを充実してほしいです。
- 子育てがしにくい街になっている。せめて赤ちゃん、キッズ用品を扱うお店を一つは誘致して欲しい。保育園も統合ばかりで待機が増えているのではないか。お願いなので本当に子育てがしやすい街になってほしい。
- 以前もこのようなアンケートを頂いたが、何回書いても何もしてくれません。神坂の霧が原へ行く道が土砂災害になりそうなので直してほしい。災害があったら孤立してしまう可能性があるのです。すでに大きな石が落下してきています。何かあってからしか対応してくれないのかと中津川市に落胆しています。
- 安い料金の市内循環バスを運行してほしい。市役所～市民病院～図書館～中津川駅を巡回するマイクロバスの運営をしてほしい。
- 蛭川地区は交通の便が悪くバスが廃止になり市民の足が奪われています。市の力で、どの地域も病院・買い物など市民生活を確保する手段を保証してください。
- 北恵那交通、恵那尾崎バス停から山手町バス停までの生活道路の車の往来が激しくこの道路沿いで暮らす私たちはいつ事故が起きるか不安で一杯です。恵那尾崎からシャトレゼの信号までバイパスがあってもそこを通らない車が特に朝晩多いです。生活道路は地元者や歩行者が安心して通れるよう何とか地元以外の車はバイパスを通るよう対策していただきたいと思います。
- 手賀野地区には手賀野公園しかありません。もっと国道近く(下の方に公園が欲しいです。◎青木斧戸線は結構な交通量です。小さな子、高齢者が横断するには危険すぎる。あと2か所くらい信号を設置するか地下道(人が通れるだけでよい)を作してほしい。横断歩道手前でもけっこうスピードを出してる車が多い。待ってくれない事もある。
- 高齢の親が手賀野地域に住んでいます。自動車免許を返納後の生活の不便さを心配しています。近場に食品・生活用品店があれば生活の不安が少しでも減るようです。また不便な地域の人たちが身近に利用しやすい交通網(巡回ワゴン車など)によって街中や市民病院などへの用足しを気軽にできれば高齢者の不安解消に繋がる事と思います。免許のない人たちへの生活しやすさを考えていただけると嬉しいのです。
- 恵那総合庁舎と工業団地を結ぶ農道の全面改修を早急をお願いしたい。出来て20年になるが、恵那市側は改修されているが中津川市側は穴やひび割ればかり多くてみっともない。
- 5月に中津川リレーマラソンが東美濃ふれあいセンターで行われますが、それに向けて特に社会人の人が仕事が終わった夕方から夜にかけて東美濃ふれあいセンターでマラソンコースを走っています。何力所か足元が暗く走りにくい所があります。街灯を増やしてほしい
- 本日のTVで静岡での事が理由で早く10年後しかリニア完成しないとの事、中津川の市長さんは自分の町の将来にわたる自然破壊の恐れについて(残土の事)自分の責任で本当にJR言う通りで良いのか答えてほしい。そして議事録に残していただきたい。「残土を包むシートとやら」どこも採用しないのに中津川だけ本当にいいの

かです。私共はリニア完成のころ生きていないと思いますが長い将来にわたり大きな問題を含んでいると思いますので市長さんの責任と覚悟を議事録に残してほしい。

- まだまだ不登校の子どもには居心地の悪い学校であると感じます。親としても子どもの事、給食費などの金銭的な不安、子どものこの先の進路の不安等、安心できる場所がもっとあるといいと思います。子育て世代が働きやすい場所が分かりやすいと嬉しい。今の職場では理解されてるとは思わない
- 市民病院に膠原病、リウマチ科を作してほしいです。専門まで遠くて通う事が(痛みで)困難です。患者会の設立等もお願いします
- 阿木と神坂は農地転用できません。我が家も高齢世帯になり近所にも若者も少なく、これ以上いつまでできるか分かりません。売りたいくても買い手もなく今年から相続していくにしても跡取りも嫁に行ったのでいません。終活のために色々片付けたいのにどうしたらいいか迷っています。農地転用できれば太陽光発電で売れるかな
- 我が総合事務所も毎年、市の人事異動があるごとに職員が減っていくので区長以下、その他の役も重荷となっているので役員の手当などに配慮していただきたい
- ソーラーパネル設置による自然破壊を止める事が未来の子供たちへの責任であると思います
- 現在病院が遠くて大変不便をしております。坂下病院の復活を早急に進めてほしいです
- 少子高齢化に伴い自治会組織の運営が困難になりつつある。限界集落が目前にやってくるので将来の対策を市として検討していただきたい。
- 災害時の避難所に指定している坂下公民館について狭いトイレ、とても使いにくい。苗木、阿木のような施設が欲しい。非常時、高齢者が安心して身を寄せられる場所を切望します。
- 災害時の避難所、坂下はあまりにもお粗末です。安心して避難できる場所を早急に。阿木・苗木が羨ましい。
- 坂下公民館のトイレを洋式に取り換えていただきたい
- (その他)避難所はいつも公共の施設になるのは決まっていることなので作る時から避難所として使用できるように造作に最初から造っておけばいいと思いますが！！
- 南木曾町や大桑村は、坂下病院まで途中からでも乗降できるようにしているが、坂下～市民病院まで北恵那バス利用出来るようにして半額ぐらいで利用できないか？(約往復 1,500)(坂下～中津川迄のバス乗降客は乗っていない)
- 坂下総合事務所裏の川上川河川敷の草刈りについて。冬季積雪がある対岸の土手で子どもたちがソリ遊びをします。貴重な遊び場ですので、安全に遊べるように草刈りの時期や太い草の茎などが残らないように配慮していただきたいです。
- 人口が減っているのに地区の役は旧態依然。逆に高齢者でも働いている人は増えている。中央が何とか声をあげてくださらないか。
- 高齢家族なので無役(奉仕作業)に出るのはむずかしい。シルバー人材センターの人など有料で仕事してほしい。
- 今は困っている事はありませんが子どもは遠くに住んでいるので夫婦のどちらかが介護が必要になった時、買い物難民になります。これからの事を考えると不安です。
- 大雨の降るたびに飲料水がまっ茶に濁り水量も安定しない。周辺の杉の木が大きくなり過ぎ、伐採したいができない。日陰のために寒い。
- 自転車走行用の道路を整備してください。車道は危険、歩道は凸凹で走れず歩行者優先です。電動自転車使用者が増加しており安全な道路整備をお願いします。

- リニアの高圧送電線工事で昨年5月～7月に3度程線状降水帯も発生、大量の土砂が自宅の田畑に流れ3枚の田畑に畔からあふれ出した状況で自宅のすぐ横で頭が真っ白になった。自宅の横を流れる川にも土砂がたまり大水と土砂で崩落も発生。ちょうど恵那市の職員2名に来てもらい崩落現場と田畑に水が流れ込んでいる現場を見てもらい、その後話を進めようとするも中電からも恵那市の職員からも何一つ返答がありません。いま振り返ってみれば全く他人事できくふりをしていただけだったのだと。

要望

- 能登半島地震の時に地域の医療従事者の方が被災者の方の治療・ケアに奮闘しておられました。平常時はもちろん災害時に大切な医療を守れる中津川市であってほしいと願います。
- 子育て支援対策、障がい者への支援、医療支援困っている人がたくさんいます。少しずつで良いので改善してほしいです
- 子育て世代は家庭や子育てをしながら働いています。子どもの早退や急病でのお休みの連絡がしやすい職場が増えてくれると助かります。そういうところに出会えたことがない
- 要望として開発がいろいろ進むにつれて自然破壊も進んでいるように思われます。美しい環境を未来の子どもたちに残してあげたいと思います。プラスチックゴミなどもありますこういったことの対策をやって頂いていますが、これからもお願いします。
- 障害者対策がまだまだです(ずっと訴えています)付知、加子母、福岡に障害者のグループホームを造ってほしい。重度身体、知的、3F ぐらいあったらよいです。
- ①社会問題の論点を図示する等し包括的に取り組むよう示してほしい。②中津川市がどうこうでなく恵那市と協働する部分もあり連携すべきだ③蛭川地域では恵那市で買い物・就労・通院している人が多い④中津川の〇〇地域が〇〇問題で困っているなど。地域ごとの課題を把握して教えて下さい
- リニアと高圧送電線の問題があまりにも世に知らされていないので、あきらめるしかないのかという思いがあります。もっと表に、この問題を出して行ってほしいです。☆2020年1月中頃、自宅に2人の中電社員が突然尋ねて来たことから始まり私が何も知らないと思ったのか高圧送電線を実家(恵那)の土地に建設したいとの簡単な説明でしたが電磁波の事があったので、直ぐ断り帰ってもらいました。コロナもあり8月頃電話がありましたが直答しませんでした。8月のお盆に帰省していたところ以前の中電の社員が二人来て2時間くらい説明に来ました(録音してます)。蛭川のKさんなど多くの人たちの話し合いにも参加、市にも説明求めたり、2020～2023の間に何度実家に行き近所の人にも、どんな経緯でこうなったか聞きにも行きました。私の地区の区長さん他5人くらいの方も実家に来たり自治会の会長・副の人も来ましたが工事による災害など訴えても他人事で、全く話になりませんでした。その結果、事実昨年5月以降工事により水が1箇所集まり大水につながりました。200年程この地の利とうまく付き合ってきた場所だけに水の道が変わる事は一目瞭然です。市の担当、中電との話も録音・写真もとってます

ご協力いただいた市民の皆さまに、心から感謝いたします。今後も、市民の皆様の声をお寄せください。

中津川市議会日本共産党 木下りつ子・田中あいこ